

永田町子ども未来会議

第46回 (R5.6.15)

厚生労働省資料

## 各報酬改定に向けた検討体制・スケジュール等

厚生労働省 保険局医療課

老健局老人保健課

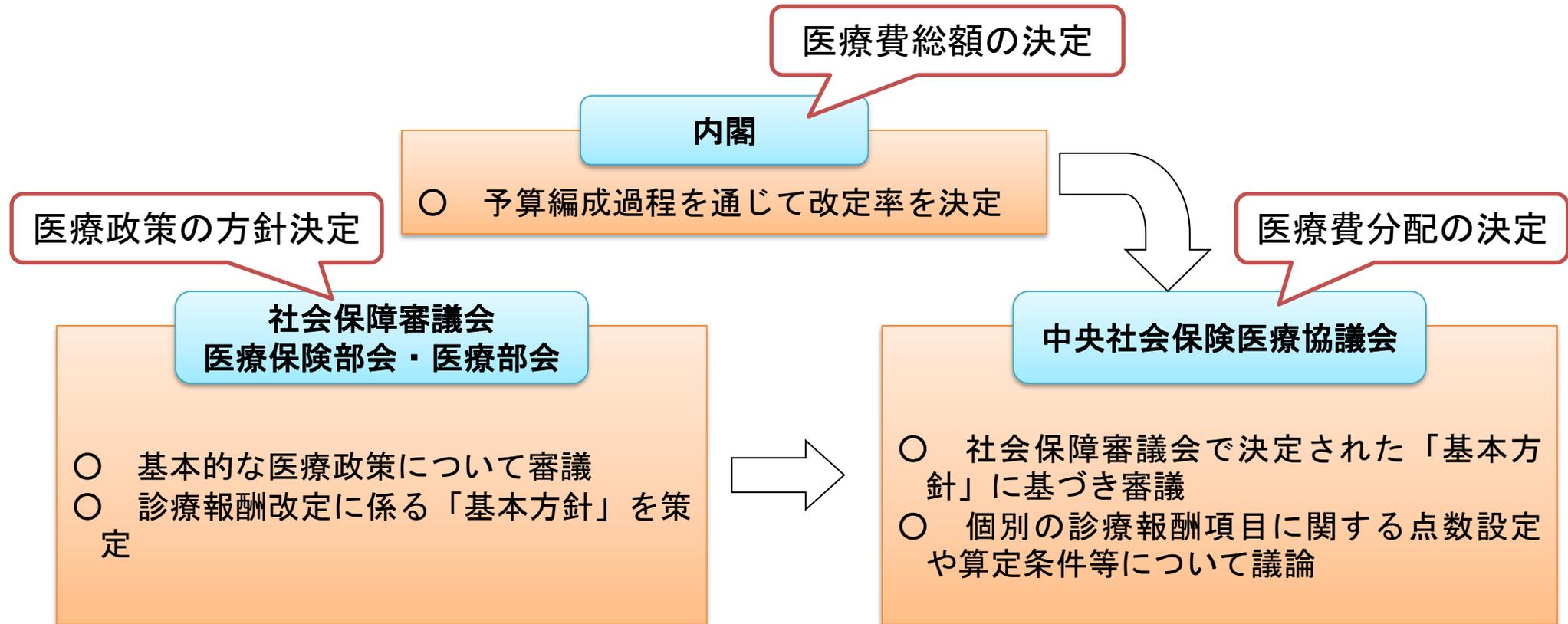
障害保健福祉部障害福祉課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

# 診療報酬改定の流れ

診療報酬改定は、

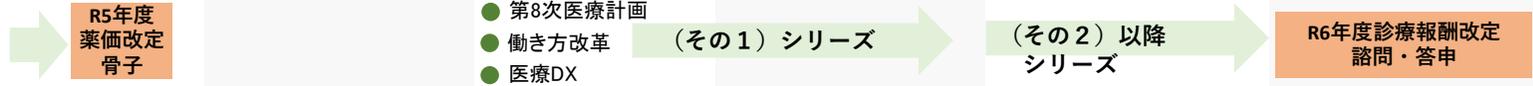
- ① 予算編成過程を通じて内閣が決定した改定率を所与の前提として、
- ② 社会保障審議会医療保険部会及び医療部会において策定された「基本方針」に基づき、
- ③ 中央社会保険医療協議会において、具体的な診療報酬点数の設定等に係る審議を行い実施されるものである。



# 令和6年度診療報酬改定に向けた中医協等の検討スケジュール（案）

令和4年 12月    令和5年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月    令和6年 1月 2月 3月

## 中医協総会



## 専門部会

○診療報酬改定結果検証部会



○薬価専門部会



○保険医療材料専門部会



○費用対効果評価専門部会

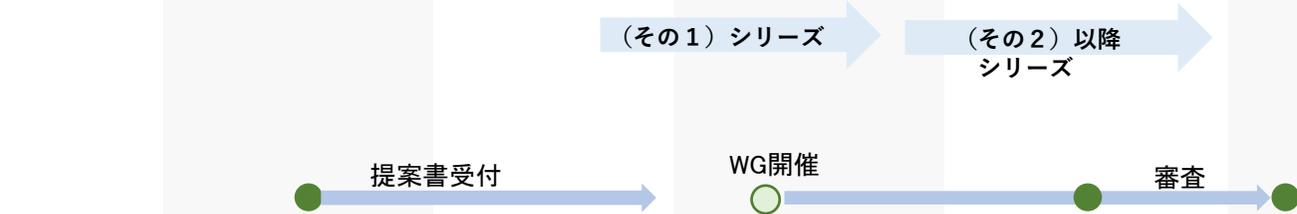


## 小委員会

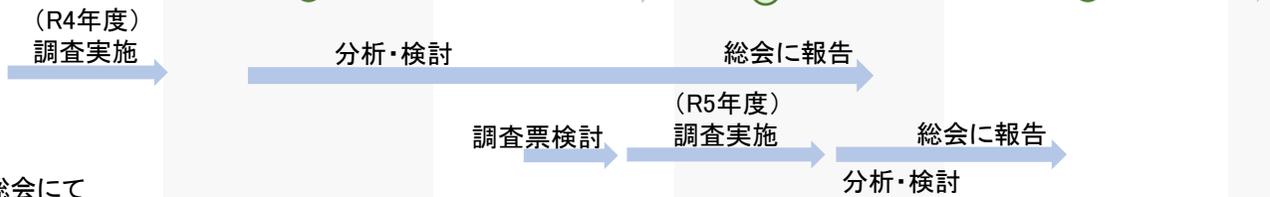
○診療報酬基本問題小委員会

診療報酬調査専門組織

○医療技術評価分科会



○入院・外来医療等の調査・評価分科会



○調査実施小委員会



令和6年度同時報酬改定に向けた意見交換会

第1回 ●    第2回 ●    第3回 ●

# 令和6年度介護報酬改定に向けた今後の検討の進め方について（案）

社保審－介護給付費分科会

第217回（R5.5.24）

資料3を加工

- 令和6年度介護報酬改定に向けては、診療報酬との同時改定であることや新型コロナウイルス感染症への対応の経験等を踏まえ、令和3年度介護報酬改定に関する審議報告及び令和4年社会保障審議会介護保険部会意見書における指摘などに基づき、各サービス種類毎の論点とあわせ、例えば以下のような分野横断的なテーマを念頭に置き、議論してはどうか。
- ・地域包括ケアシステムの深化・推進
  - ・自立支援・重度化防止を重視した質の高い介護サービスの推進
  - ・介護人材の確保と介護現場の生産性の向上
  - ・制度の安定性・持続可能性の確保

## 【スケジュール案】

- 令和5年
- 6月～夏頃 : 主な論点について議論
  - 9月頃 : 事業者団体等からのヒアリング
  - 10～12月頃 : 具体的な方向性について議論
  - 12月中 : 報酬・基準に関する基本的な考え方の整理・とりまとめ
- ※地方自治体における条例の制定・改正に要する期間を踏まえて、基準に関しては先行してとりまとめを行う。

令和6年度政府予算編成

- 令和6年
- 1月頃 : 介護報酬改定案 諮問・答申

# 障害福祉サービス等報酬改定検討チームについて

障害福祉サービス等に係る報酬について、報酬改定の検討を行うため、「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」を開催し、アドバイザーとして有識者の参画を求めて、公開の場で検討を行う。

検討過程の客観性・透明性の担保のために参画

## アドバイザー(11名)

主査 厚生労働大臣政務官  
副主査 厚生労働省障害保健福祉部長  
副主査補 こども家庭庁長官官房審議官(支援局担当)  
構成員  
厚生労働省障害福祉保健部 企画課長  
障害福祉課長  
精神・障害保健課長  
地域生活・発達障害者支援室長  
職業安定局雇用開発部 障害者雇用対策課  
(オブザーバー)  
こども家庭庁支援局 障害児支援課長

- ・有村 大士 日本社会事業大学社会福祉学部教授
- ・石川 貴美子 秦野市福祉部障害福祉課長
- ・石津 寿恵 明治大学教授
- ・井出 健二郎 兵庫県立大学大学院経営専門職医療介護マネジメント教授
- ・岩崎 香 早稲田大学人間科学学術院教授
- ・小澤 温 筑波大学人間系教授
- ・高 容康 豊中市こども未来部はぐくみセンターおやこ保健課主幹、豊中市立児童発達支援センター所長
- ・佐藤 香 東京大学社会科学研究所  
社会調査・データアーカイブ研究センター教授
- ・田村 正徳 埼玉医科大学総合医療センター名誉教授、  
佐久大学客員教授
- ・野澤 和弘 毎日新聞客員編集委員
- ・橋本 美枝 成田地域生活支援センター施設長

※ 主査が必要と認める時は、関係者から意見を聞くことができる。

- 【検討項目】 (1) 障害福祉サービス等報酬改定の基礎資料を得るための各種調査  
(2) 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定 等

## <令和6年度報酬改定チーム検討スケジュール(イメージ)>

|              |                              |
|--------------|------------------------------|
| 令和5年5月22日(月) | 第28回報酬改定検討チーム(今後の検討の進め方について) |
| 7月~8月        | 関係団体ヒアリング(6回程度)              |
| 8月中          | 関係団体ヒアリングの意見まとめ、論点整理         |
| 9月~10月       | 各サービスの報酬等の在り方について検討          |
| 11月          | サービス横断的な報酬等の在り方について検討        |
| 12月          | 報酬・基準に関する基本的な考え方の整理・取りまとめ    |
| 令和6年2月       | 障害福祉サービス等報酬改定案のとりまとめ         |

# 令和6年度の同時報酬改定に向けた意見交換会

## 目的

- 令和6年度は、6年に一度の診療報酬、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の同時改定になるとともに、医療介護総合確保方針、医療計画、介護保険事業(支援)計画、医療保険制度改革などの医療と介護に関わる関連制度の一体改革にとって大きな節目であることから、今後の医療及び介護サービスの提供体制の確保に向け様々な視点からの検討が重要となる。
- このため、中央社会保険医療協議会総会及び社会保障審議会介護給付費分科会において、診療報酬と介護報酬等との連携・調整をより一層進める観点から、両会議の委員のうち、検討項目に主に関係する委員で意見交換を行う場を設けることとし、中央社会保険医療協議会総会及び社会保障審議会介護給付費分科会がそれぞれ具体的な検討に入る前に、以下のテーマ・課題に主に関わる委員にて意見交換を行った。

## テーマ

1. 地域包括ケアシステムのさらなる推進のための医療・介護・障害サービスの連携
2. リハビリテーション・口腔・栄養
3. 要介護者等の高齢者に対応した急性期入院医療
4. 高齢者施設・障害者施設等における医療
5. 認知症
6. 人生の最終段階における医療・介護
7. 訪問看護
8. 薬剤管理
9. その他

## スケジュール

- 令和5年 3月15日 第1回検討会 開催 テーマ1、2、3  
令和5年 4月19日 第2回検討会 開催 テーマ4、5  
令和5年 5月18日 第3回検討会 開催 テーマ6、7

※ テーマ8については各テーマ内で議論

| 出席者(計14名) |   |
|-----------|---|
| 池端 幸彦     | 日本慢性期医療協会副会長                            |
| 稲葉 雅之     | 民間介護事業推進委員会代表委員                         |
| 江澤 和彦     | 日本医師会常任理事                               |
| 小塩 隆士     | 一橋大学経済研究所教授<br>【中央社会保険医療協議会会長】          |
| 田中 志子     | 日本慢性期医療協会常任理事                           |
| 田辺 国昭     | 国立社会保障・人口問題研究所所長<br>【社会保障審議会介護給付費分科会会長】 |
| 田母神 裕美    | 日本看護協会常任理事                              |
| 長島 公之     | 日本医師会常任理事                               |
| 濱田 和則     | 日本介護支援専門員協会副会長                          |
| 林 正純      | 日本歯科医師会常務理事                             |
| 東 憲太郎     | 全国老人保健施設協会会長                            |
| 古谷 忠之     | 全国老人福祉施設協議会参与                           |
| 松本 真人     | 健康保険組合連合会理事                             |
| 森 昌平      | 日本薬剤師会副会長                               |

(五十音順 敬称略)